



★八王子中だより★

★学校教育目標 『大志を抱け ひとみ輝く 八中生』

～ 賢く 豊かに 逞しく ～

★令和8年8月26日(水) さいたま市立八王子中学校学校だより 8・9月号

★HP アドレス <http://hachioji-j.saitama-city.ed.jp/> (生徒の学校生活の様子等をHPにアップしています)



対話の仕方

校長 酒井 和浩



1年 人の良いところを伝える取組
「7月いいこと祭り」

夏季休業中に熊本地震ならびに千葉県の高雨・洪水災害が起きました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。本校では昨年度までの2年間、防災教育の研究を行い、現在も中央区の防災訓練に参加したり、かやの木スクールで防災講座を行ったりするなど、継続して防災学習に取り組んでいます。災害については、日頃から正しい知識を身に付け、自分ならどう行動するかを考えることが大切です。

先日、さいたま市でも大きな地震と集中豪雨がありました。洪水で本校に避難する際は、3階以上の垂直避難となります。体育館が使用できないうえ、避難スペースや備蓄にも限りがあり、状況によっては、本校よりも安全な他の避難所（与野西北小やいずみ高校など。詳細はさいたま市HPにて確認してください）に避難することも考えなくてははいけません。ご家庭でも「もし今、大きな地震や集中豪雨が起きたらどう行動するか」などについて話し合ってみてください。

さて、先日、教育講演会に参加し、フリーアナウンサーの辻よしなりさんの話を聞く機会がありました。辻さんは私の若い頃にテレビでご活躍されていたため、この機会を楽しみにしていました。今回の講演は対話術についての話で、教員としてだけではなく、1人の人間として有意義な話を聞くことができ、いくつか印象に残ったことがありました。1つ目は「相手のことを知るためには自分のことを言う」ことです。相手に何かを聞く際には「私は〇〇ですが、あなたはいかがですか？」など、自分のことを先に伝えるそうです。確かに自分のことを先に伝えれば、相手も心を開いて本音を話してくれると思います。2つ目は「言葉のおもてなしをする」ことです。以前に聞いた内容を覚え、次に会った際にその内容をさりげなく使うようにしているそうです。相手は自分のことを覚えてくれていると嬉しくなり、さらに対話がスムーズに進んでいきます。3つ目は「相手をほめる」ことです。お世辞ではなく、相手の立場に立って、こんなこと言われたらうれしいだろうと考えるそうです。また、その中で大切なのは肯定することだそうです。努力している姿など、さりげなく伝えるそうです。ただし、これらのことを実践する際には、言い方（口調）が大切で、真の気持ちを込めて伝えないと意味がないとのことでした。

人とコミュニケーションをとるには、よい人間関係を構築することが大切だそうです。上記の3つのことを実践することで、よい人間関係構築につながると思います。そして、人間関係を構築すれば、信頼と好意を得ることができ、対話もさらにスムーズに進んでいくと思います。今回講演会で得たことは、自分自身の職場での場面に限らず、プライベートでも十分に活用していきたいと感じました。一方、保護者の皆様にも、お子様との会話でおおいに役に立つことではないかと感じました。私が担任をしていた時に保護者の方から「子どもが反抗期で話をしてくれない」という話をよく聞いていましたが、これらのことを実践することで人間関係を構築することができ、対話がスムーズになっていくのではないのでしょうか。